



灯台から地域を照らす

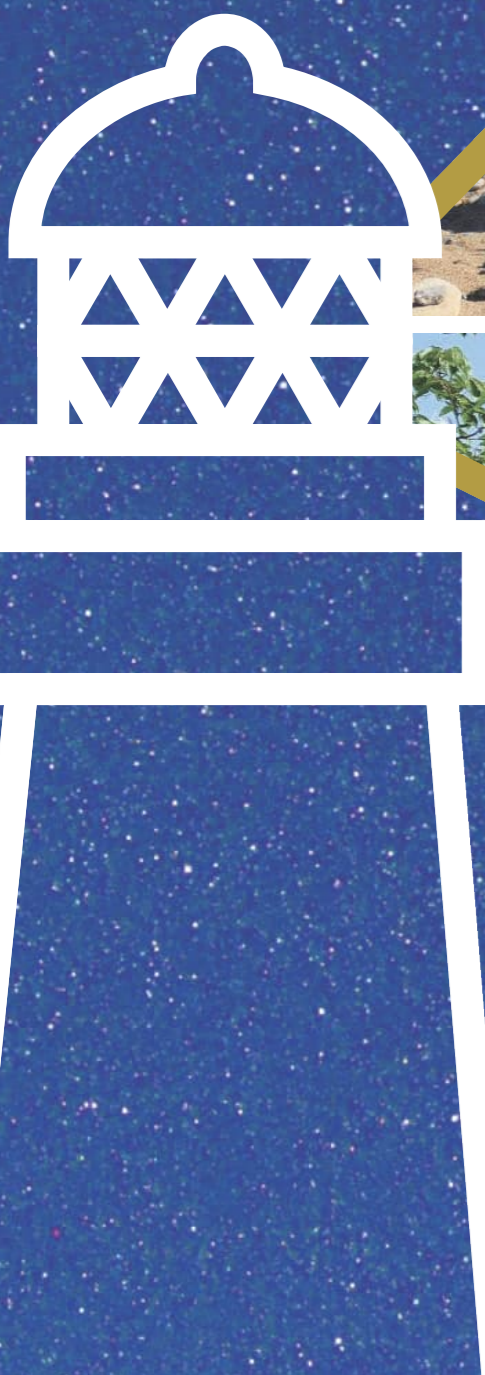
1 取組概要

御前崎市には海岸や山林など自然に恵まれた景観があります。また市民の生活や生業により灯台や農業の景観等が形成され、これらの景観に対して市民等が愛着や誇りを持っていることから、市民等が主体の灯台150周年イベントの実施や、地域による耕作放棄地の作物転換など、**協働による景観まちづくり**が行われています。

さらに、観光を主産業とする本市にとって、観光と密接な関係にある景観まちづくりは、地域の**活力増進や発展に寄与**します。

ゆえに景観まちづくりを、**市民の日常と観光の両面から推進することとした景観計画**を

策定し、景観だけでは実現が難しい課題に対し、連携した取組みにより本市の活力増進や発展を目指しています。



2 工夫した点

WSや勉強会を重ねながら、良好な景観を「市民等のシビックプライドと観光活性化の両輪で実現を目指す」方針を掲げ、景観のルールについて協議を行いました。

さらに、景観形成の推進に向けて動きだしていくため、今後の取組について議論を行い、実行性のある計画を目指しています。

3 実施体制

実行性のある計画を目指し、検討段階から、市民団体、商工会、建築士会、農業委員会、観光や飲食等の民間事業者、地方公共団体、大学などと協働で進めています。